

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月2日 (金)

会場 日立第一高等学校体育館

【男子の部】 第1日目 Cコート 第1試合

チームA 北海道大麻	100	{ 17 1Q 12 23 2Q 6 29 3Q 19 31 4Q 11 OT	48	チームB 県立岐阜農林	岐阜
---------------	-----	--	----	----------------	----

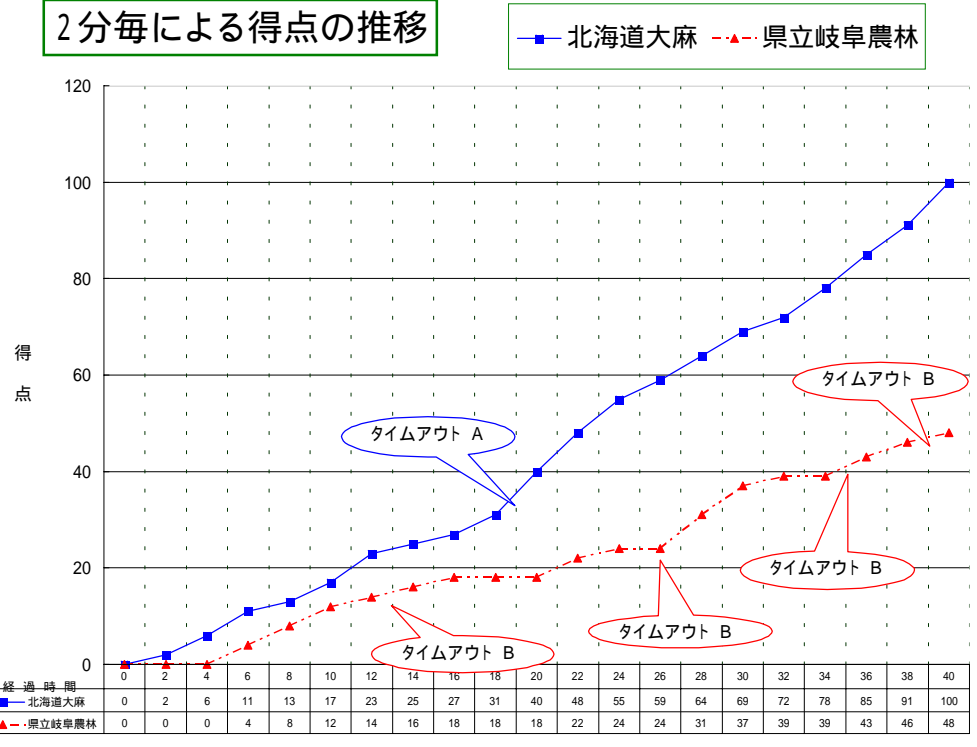
北海道大麻

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	山田 寛	8	0	0	4	7	0	0	2	5	3	1	1	0	0	22
5	中川 明	13	2	3	3	12	1	2	1	0	1	1	4	1	0	21
6	細川 豪	9	0	0	4	4	1	1	1	0	0	0	1	1	0	11
7	宮川 拓也	17	1	4	7	13	0	1	2	0	1	0	2	0	2	30
8	大榎 馨平	2	0	0	1	1	0	0	1	2	1	0	1	0	0	6
9	三鍋 健太	3	0	1	1	4	1	2	4	1	1	1	0	3	0	15
10	向 淳希	14	0	0	7	9	0	0	3	0	3	1	3	0	0	33
11	風間 俊亮	14	0	0	7	13	0	0	1	1	6	1	2	2	1	33
12	伊藤 堯紀	6	0	1	2	5	2	5	0	2	0	0	0	0	0	12
13	斉藤 隼平	5	0	0	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
14	坂上 慶	9	1	3	3	4	0	0	1	1	1	1	0	1	0	8
15	鈴木 豊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	7
コーチ	長野 雅男								0							
		100	4	12	41	74	6	12	16	12	18	6	14	8	3	200
		確率	33.3%		55.4%		50.0%									

県立岐阜農林

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	野々村日希	17	1	2	6	14	2	2	2	3	8	2	0	1	0	40
5	柿下 孝太	4	0	0	2	11	0	0	4	0	1	5	1	1	0	28
6	酒井隆太郎	13	1	2	5	20	0	0	2	3	0	4	1	0	0	39
7	日下部一徳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
8	和田 将弘	8	0	1	2	6	4	5	2	0	3	5	3	1	1	34
9	水上 卓	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1
10	戸谷慎太郎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11	伊東 洋	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
12	大橋 洋介	4	0	0	2	7	0	0	4	2	7	1	0	1	0	38
13	大坪 拓朗	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	4
14	熊崎 竜也															DNP
15	中奥 憲吾	2	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	12
コーチ	田中 聡								0							
		48	2	5	18	60	6	9	15	11	19	20	5	4	2	200
		確率	40.0%		30.0%		66.7%									

2分毎による得点の推移



戦評

第1P、攻め手に欠ける岐阜農林に対し、大麻は#4山田、#5中川を中心に確実に得点を重ね、8分には8-0とリードした。岐阜農林はようやくモーションオフenseが機能し始め、#4野々村、#8和田を中心に追撃を開始し、17-12と大麻の5点リードで終えた。

しかし、第2P立ち上がり、岐阜農林はミスを連発。大麻はスティールからの連続速攻でつき放しにかかり、2分には#7宮川のダンクシュートもとび出し、試合の流れを一気に引き寄せた。大麻が25-14とリードしたところで岐阜農林はたまたまタイムアウトを請求、ディフェンスをオールコートに変えて対抗するが差を縮めることはできず、逆に大麻#4山田、#5中川の連続得点で40-18として第2Pを終了した。

第3Pに入っても大麻は攻撃の手を緩めず、#5中川、#7宮川を中心に加点し、69-37と大きくリードした。

第4Pもスピードと高さに優れる大麻の勢いは止まらず100-48と圧勝した。岐阜農林は#4野々村がリバウンドやポストプレーで存在感を示していたことが特筆される。

主審 佐藤 誠

副審 那須 弘幸

記入者 中山 幸昭